

2014年8月4日

ICTスキル認定資格制度「ドットコムマスター ベーシック」が インターネット受検方式に対応 ～会場に行かずに、いつでもどこでも受検可能～

NTTコミュニケーションズ（略称：NTT Com）は、ICTスキル認定資格制度であるインターネット検定「ドットコムマスター ベーシック」について、2014年8月4日より、IBT (Internet-Based Testing)方式による受検を追加します。これにより、インターネットに接続された環境であれば、テストセンター(検定会場)以外でも受検できるようになります。

1. 概要

IBT(Internet-Based Testing)方式とは、インターネット環境があれば、いつでもどこでも実施できる新しい受検方式です。IBT方式の採用により、近隣にテストセンターがない方や、指定された時間帯に受検することが難しかった方も、自宅や職場、あるいは学校などで受検することができます。

この度 NTT Com は、受検の機会を増やしてほしいというお客さまのご要望にお応えし、場所や時間にとらわれず受検を可能にすることで、インターネット社会において不可欠な基礎知識を習得・確認できる機会を、より多くの方に提供していくこととしました。

なお、従来提供している全国270カ所以上のテストセンターにおける受検であるCBT(Computer-Based Testing)方式も引き続き実施します。*

2. 受検要領

インターネット検定ドットコムマスター公式サイト(<http://www.com-master.jp/>)よりお申し込みください。

IBT方式で受検するために必要なパソコンなどの環境については、別紙「IBT推奨動作環境」を参照してください。

3. 開始時期

2014年8月4日(月)

*: 認定資格「ドットコムマスター アドバンス」はCBT方式で継続します。

<参考>ドットコムマスターとは

社会でのICTリテラシー向上とインターネットの更なる利用促進を図ることを目的に、2001年よりNTT Comが実施しているICTスキル認定資格制度です。社会で必要なICT知識を、特定の分野に偏らず、基礎から体系的・網羅的に身に付けることができる資格として、これまで約40万人に受検していただいています。ドットコムマスターには、ICTを安心・安全に利用できる初級レベルの資格「ドットコムマスター ベーシック」、個人や企業のICT活用をサポートできる中級・上級レベルの資格「ドットコムマスター アドバンス」の2つの資格があり、目的に合わせてお選びいただけます。

【別紙】IBT方式推奨動作環境 2014年8月4日現在

OS(日本語版のみ)	Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 ※Windows 8 および Windows 8.1 ではデスクトップモードのみ Mac OS X 10.6以降
ブラウザ	Windows OS: Microsoft Internet Explorer 8、9、10、11 Firefox 最新版 Google chrome 最新版 Mac OS: Safari 最新版
画面解像度	1024 × 768 ピクセル以上
その他	Adobe Flash Player 最新版 JavaScript が動作する設定となっていること Cookie を使用できる設定となっていること

OS、ブラウザ、Adobe Flash Player の推奨条件は、各製品ベンダーの方針により予告なく変更させていただきます。